

令和7年度 第1回 寝屋川市内視鏡検診運営委員会 会議要旨

日時

令和8年1月22日（木）午後2時00分から3時00分

会場

寝屋川市保健福祉センター 3階 集団検診室

出席者（敬称略）

委員長 伊与田 賢也（医師）

副委員長 宮崎 悦子（医師）

委員 廣原 淳子（医師）、津久田 諭（医師）、森近 省吾（保健所長）

市所管部長 木場 富士夫

事務局 課長 大久保 美紀

係長 榎原 有実子

奥西 文、細尾 実穂、大橋 若菜

会議内容

1 委員長、副委員長の選任

決定事項

(1) 委員長に伊与田委員を選出。副委員長に宮崎委員を選出。

2 令和6年度及び令和7年度実績報告

(1) 令和7年10月末時点の各医療機関の実施件数、要精密検査の件数及びその内当日生検した件数の報告。

(2) 受診率微減の要因について、受診間隔を2年に1回へ変更したこと、対象年齢を50歳以上へ引き上げたこと、内視鏡に対する心理的抵抗等を考えている。

(3) 広報について、自治会・商団連・子育て支援拠点等でポスター掲示を依頼、主治医からの声かけが受診率向上につながるため、継続して協力を依頼。

検討事項

(1) 令和7年度実績が令和6年度に比較し減少の見込みであることについて

決定事項

- (1) 受診向上のため、市民の方々に検査の安全性や精度に関する正しい理解をしていただき、安心して受診できるように、工夫して啓発していく。また、より気軽に受診していただけるよう、費用についても 2500 円から 1500 円に引き下げたことを併せて周知する。
- (2) 精密検査実施数、結果を次年度以降報告する。

3 胃がん検診(胃内視鏡検査)の運営における報告

- (1) 当日生検の実施理由を報告。学会マニュアル(2024年版)では原則「胃がん疑い」が当日生検対象。令和6年度は「その他の疾患」を理由とする当日生検が18件あったが、周知後、令和7年度(4月～10月)は該当なし。
- (2) 医療機関の方針として当日生検を行わない医療機関がある件。
- (3) 受診票(判定欄)に悪性病変「疑い」の表記がないため判定にばらつきが生じる。

検討事項

- (1) 当日生検を実施しない医療機関について
- (2) 医療機関間の生検実施率のばらつきについて

決定事項

- (1) 「胃がんが疑われる病変」は原則当日生検を基本とする。当日実施を行わない医療機関については引き続き市民負担軽減の観点から、当日生検実施を求めていく。
- (2) 要精密検査実施率が高い医療機関について、がんを疑って精密検査を実施していることを常に確認し、引き続き正しい判定をお願いするように伝えていく。

4 次年度の研修について

- (1) 令和7年度4月に道田知樹先生(大阪国際がんセンター)を講師に研修を実施し好評。2024年版マニュアル改定を踏まえ、今年度も実務に即活かせる内容の研修を開催予定。
- (2) 候補講師に道田知樹先生と高槻市医師会紹介の医師が挙がっている。

決定事項

- (1) 道田知樹先生、高槻市医師会紹介の医師のどちらかの先生に講師依頼する。
- (2) 研修会は次年度早めの時期に実施する。

5 その他

- (1) 手引き改訂案説明。
- (2) 来年度受診票の修正について。
 - ア 判定欄「胃がん以外の悪性病変」に「・疑い」を追記。
 - イ 再検査必要性欄に「Group1 かつ生検部位以外に胃がんを疑う所見がない場合は、再検査必要なし」と注記。
- (3) 今後の委員会の対応・公開について

決定事項

- (1) 受診票修正案を各委員にメールで諮った後、事務局から受託医療機関へ周知する。
- (2) 本要旨（会議録案）を作成し委員に送付、確認のうえ寝屋川市ホームページで公開する。
- (3) 会議開催頻度は年1回以上とする。